

令和6年度

# 自然保護講座



自然環境保全・再生に関するさまざまなテーマについて、ワークショップや講義等を通して学びます。(受講料は無料)

コード	テーマ・内容			
	開催日時	定員	申込期間	講師
101	<b>自然案内人ことはじめ ～自然解説の引き出しを増やす～</b> 自然を観る眼を養い、周囲を巻き込みながら自然を楽しむインタープリテーション技術の基礎を学びます。講義を聴くだけでなく、体験し、考え、発表するワークショップ形式で行います。(12:30から講師による野外プログラムを実施します。)			
	5月18日(土) 10時～14時	30名	4月1日 ～5月4日	生命の星・地球博物館 青木 雄司 外来研究員
102	<b>鳥獣被害の現状から野生動物との付き合い方を考える</b> 自然と人が住む地域が近接している本県において、イノシシやニホンザル、アライグマ等による鳥獣被害対策の現場から、野生動物と人間との付き合い方について考えます。			
	7月13日(土) 10時～12時	40名	5月13日 ～6月29日	かながわ鳥獣被害対策支援センター 石川 智弘 マネージャー
103	<b>神奈川の野鳥の生息状況と課題</b> 海・山・川、都市部から里山まで、多様な自然環境がある本県における野鳥の生息状況の変化について学ぶことで、本県の自然環境が抱える課題や、野鳥の生息環境を守るために私たちができることについて考えます。			
	11月9日(土) 10時～12時	40名	9月9日 ～10月26日	生命の星・地球博物館 加藤 ゆき 情報資料課長
104	<b>神奈川の自然環境保全 (野外活動ができる服装で参加してください。)</b> 神奈川県フィールドスタッフになるための基本的な資質・能力の向上を図るための講座です。(既に神奈川県フィールドスタッフとして登録している方も受講可能です。) ①本県の自然環境の特徴/②丹沢大山自然再生の取り組み/③観察会の企画・運営			
	11月23日(土) 10時～16時	20名	9月23日 ～11月9日	自然再生企画課 かながわフィールドスタッフクラブ
105	<b>野生鳥獣救護の現状と野生鳥獣との付き合い方</b> 本県における野生動物救護活動の現状について学ぶとともに、野生動物との付き合い方や私たちができることについて考えます。			
	1月25日(土) 10時～12時	40名	11月25日 ～1月11日	自然保護課

※ 「神奈川の自然環境保全」は講座(1日)と実習(1日:別日)で構成されています。神奈川県フィールドスタッフへの新規登録を希望する方は、自然保護課が担当するミニ観察会において、実習を行う必要があります。(実習日等についてはご相談ください。)

## <お申込方法等>

申込期間(必着)に、右の当センターHPから神奈川電子申請システムによりお申し込みください。(定員超過の場合は抽選)

※ パソコン等の利用環境のない方は、自然保護課までお問合せください。

【問合せ先】厚木市七沢 657 自然環境保全センター自然保護課 046-248-6682



# 神奈川県フィールドスタッフとは？



## 1 フィールドスタッフとは

県民に対し自然の大切さを普及啓発することを目的に、自然環境保全センターの他、県内各地で自然観察指導や自然体験指導のボランティア活動を行う神奈川県の自然観察指導員です。(登録制・毎年度更新)

## 2 フィールドスタッフになったら

- 神奈川県フィールドスタッフ登録証を身に付けて地域における自然観察会等を開催することができます。
- 研修会等で身に付けた知識・技術等を活かす場として、自然環境保全センターで実施する野外施設の環境調査や教育普及事業等にボランティアとして参加することができます。

## 3 新規登録要件・更新要件

### (1) 新規登録要件

(公財)日本自然保護協会(NACS-J)が主催する自然観察指導員養成講座及び自然環境保全センターが実施する研修会(自然保護講座のうち「神奈川の自然環境保全」(※))を受講すること。

※ 講座(1日)と実習(1日)で構成されています。

### (2) 更新要件

自然環境保全センターが実施する研修会(自然保護講座 他)又は教育普及事業に、1年間で1回以上の受講や参加があること。

### 自然観察指導員養成講座

「自然のみかた」を学ぶとともに観察会実施に必要な基礎知識等を身に付けます。

※ (公財)日本自然保護協会(NACS-J)主催

### 自然保護講座

#### 「神奈川の自然環境保全」

神奈川県の自然の特徴や課題、保全再生に向けた取組、自然体験の大切さ等について学びます。

(講座1日+実習1日)

フィールドスタッフ登録後も、引き続きインタープリター・ファシリテーターとしての知識・指導技術の向上を図るため、自然環境保全に関する最新の知見や実践的な技術等について学びます。(講演、ワークショップ等)

